

日本マイコトキシン学会 第71回学術講演会プログラム

日時：2012年7月6日（金） 9:20～17:20

会場：沖縄県市町村自治会館 自治会館ホール

（沖縄県那覇市旭町 116-37、<http://www.okinawa-jichikaikan.com/>）

プログラム

9:20－9:30 開会あいさつ

9:30－10:30 一般講演

座長：作田庄平（東大院農・応生化）

O1 OrdA 酵素が触媒する M グループアフラトキシンの生合成機構

○矢部希見子¹、千早直美¹、畑林秀美¹、紀藤雅子¹、星野幸子¹、Hongmei Zeng^{1,3}、Jingjing Cai^{1,3}、
中島廣光²

¹（独）農研機構・食総研、²鳥取大農、³（現）中国農業科学院

O2 蛍光指紋によるナツメグ中のアフラトキシンの非破壊検知法の開発

○藤田かおり¹、池田日高²、佐川岳人²、蔦 瑞樹¹、杉山純一¹

¹（独）農研機構・食総研、²エスビー食品（株）

座長：久米田裕子（大阪府公衛研）

O3 沖縄県泡盛醸造工場内における section *Nigri* の調査と mycotoxin 産生能

○川上裕司¹、橋本一浩¹、橋本ルイコ²、浅野勝佳³、陰地義樹³、横山耕治⁴、高橋治男⁵

¹FCG 総研、²千葉衛研、³奈良保健環境研、⁴千葉大真菌医学研、⁵国立衛研

O4 国産ワインにおける *Aspergillus niger* 産生マイコトキシンの分析

○中川博之¹、佐合由紀¹、橋本ルイコ²、清水公德³、小西良子⁴、高橋治男⁴、横山 治³

¹（独）農研機構・食総研、²千葉衛研、³千葉大真菌医学研、⁴国立衛研

O5 ベトナム産コーヒー豆から分離された Section *Nigri* とそのカビ毒産生性

○橋本ルイコ¹、陰地義樹²、浅野勝佳³、中川博之³、横山耕治⁴、高橋治男⁵

¹千葉衛研、²奈良保健環境研、³（独）農研機構・食総研、⁴千葉大真菌医学研、⁵国立衛研

10:30－10:45 休憩

10:45－11:45 一般講演

座長：中島正博（名古屋市衛研）

O6 PCR 法による *Byssochlamys* 属の patulin 生産性と種の識別

○矢口貴志¹、今西由巳¹、松澤哲宏¹、細谷幸一²、中山素一²、人見 潤²

¹千葉大真菌医学研、²花王安全研

O7 イムノアフィニティーカラムによる DON と NIV のクリーンアップ

○Danrey Toth

VICAM

座長：木村 真 (名大院・生命農)

O8 *Fusarium graminearum* における ATP citrate lyase、acetyl-CoA 量とトリコテセン生産との関係
坂本直子¹、○古川智宏¹、露木利枝¹、吉成知也²、Usuma Jermnak¹、長澤寛道¹、作田庄平¹
¹東大院農・応生化、²国立衛研

O9 スクロースによる *Fusarium asiaticum* の 3ADON 産生誘導の解析
○川上 顕¹、岩橋由美子²、中島 隆³、平八重一之¹
¹農研機構・九沖研、²農研機構・食総研、³農研機構・本部

O10 チオファメートメチル耐性ムギ類赤かび病菌のトリコテセン系マイコトキシン産生に対するテブコ
ナゾールの影響について
○須賀晴久¹、船坂美佳¹、景山幸二²、百町満朗³、平八重一之⁴
¹岐大生命セ、²岐大流域研セ、³岐大応生、⁴農研機構・九州沖縄農研

11:45-13:15 昼食

13:15-14:15 特別講演

座長：佐久川さつき (沖縄衛環研)

「沖縄の伝統発酵食品—豆腐—の歴史、発酵と機能性」

安田正昭 (琉球大学名誉教授)

14:15-14:45 ポスターセッション

P1 アフラトキシン生産制御タンパク質に結合する物質の探索系の構築

○高城景子¹、Diyana Febri Prabowo¹、Usuma Jermnak¹、吉成知也²、長澤寛道¹、作田庄平¹
¹東大院農・応生化、²国立衛研

P2 トータルアフラトキシン及びシトリニンの米調理過程における減衰に関する研究

○古沢博子、渡邊 康、佐久間久子、吉成知也、大西貴弘、小西良子
国立衛研

P3 G グループアフラトキシン含有トウモロコシより分離したアフラトキシン生産菌の解析

○吉成知也¹、佐藤友里²、渡辺麻衣子¹、鎌田洋一¹、川上 浩¹、大西貴弘¹、小西良子¹
¹国立衛研、²共立女大

P4 アフラトキシン BG 群汚染食品中の原因菌の検索

○久米田裕子¹、田端節子²、岡野清志³、一戸正勝³
¹大阪府公衛研、²東京都健安研センター、³(財)マイコ検査協会

P5 トウモロコシの総アフラトキシンのスクリーニングにおける 'RIDA クイック・アフラトキシン' の
通知法による妥当性検証

○森田 裕¹、Bernhard Reck²、Markus Lacorn²、Walter Lübbecke²、Anja Tischer²
¹アヅマックス(株)、²R-Biopharm

P6 ピュリトックスTC-M160固相抽出カラムの通知法による妥当性検証

Julie Brunkhorst¹、Bruce Malone¹、○森田 裕²
¹Trilogy Anal. Lab.、²アヅマックス(株)

P7 酵母細胞に対するタイプBトリコテセン系マイコトキシンの毒性影響

○鈴木忠宏、岩橋由美子
農研機構・食総研

P8 フザリウム汚染麵用小麦の製粉後のニバレノールの減衰と品質性状について

○岡留博司¹、Md. Sharif Hossen¹、久城真代^{1,2}、吉田めぐみ^{3,4}、中川博之¹、中島 隆^{2,3}、長嶋等¹
¹(独)農研機構・食総研、²農研機構・本部、³農研機構・九沖農研、⁴農林水産技術会議

P9 *Fusarium*属菌のマイコトキシンの産生能を推定する一分子系統解析の有用性

○渡辺麻衣子¹、米澤隆弘²、小西良子¹、鎌田洋一¹
¹国立衛研、²復旦大学

P10 タイプBトリコテセンの生合成とその生産制御

前田一行^{1,2,3}、○市川雛代²、兵藤壮一郎^{1,4}、富永直樹^{1,4}、大里修一³、鎌倉高志⁴、
米山勝美³、小林哲夫²、吉田 稔¹、木村 真^{1,2}
¹理研・基幹研、²名大院・生命農、³明大・農、⁴東理大・理工

P11 *Fusarium graminearum* によるトリコテセン生合成の制御物質の探索とその作用機構

市川雛代¹、○前田一行¹、中嶋祐一¹、斉藤臣雄²、長田裕之²、小林哲夫¹、木村 真^{1,2}
¹名大院・生命農、²理研・基幹研

14:45-15:45 特別講演

座長：宮崎 茂（農研機構・動衛研）
「海産自然毒中毒の最近の動向」
安元 健（(財)日本食品分析センター）

15:45-16:00 休憩

16:00-17:10 シンポジウム「亜熱帯における自然毒」

座長：小西良子（国立衛研）

S1 Toxic effects of mycotoxin citrinin in vivo and in vitro

○Biing-Hui Liu, Ting-Shuna Wu, Feng-Yih Yu
Chung Shan Medical University, Taiwan

S2 沖縄の自然毒（仮題）

沖縄衛環研

17:10-17:15 次回学術講演会の案内

17:15-17:20 閉会のあいさつ

17:30-19:00 懇親会

会場：自治会館 4 F